

CJM REPORTER



カナディアン ジャパニーズ ミニストリー (CJM) 2009年春号

金城ノリ

今年の3月19日から22日にかけて、日本の埼玉でAll Nations Returnees Conference (帰国者のためのカンファレンス) が行われまし

各地のリーダーの方々とは知り合う機会が与えられたことは大きな祝福でした。海外帰国生たちにとっても自分と同じような体験をしている人たちと知り合い、分ち合い助け合う友

全国帰国者カンファレンス

た。500人以上の出席があり、その半分以上が海外から帰国した若者たちでした。オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン、イタリア、フランス、ドイツ、オランダ、イギリスに北アメリカ、またその他いろいろな国からそれぞれ代表者が訪れていました。海外でクリスチャンとなり日本に帰ってくる若者が、再び日本の生活に戻り教会に通い始めるのを、どのように助けていったらいいのか、どのような必要性があるのかについて良い話し合いがもたれ、参加者それぞれが、このカンファレンスの有効性を実感しました。総会も分科会も有意義で真相をついたものだったと思います。そして、クリスチャンとなって日本に帰国する若者たちが日本の社会にいきなり放り出されるのではなく、帰国するにあたってあらかじめそれぞれの地域でサポートとなってくれる人々（または場所）を紹介することが出来るように、日本全国にネットワークを築いていくために共に労していくことをゴールとし、来年も同じ場所で、同じ時に再びこのカンファレンスをするので皆が同意し、それぞれの帰途へと帰っていききました。

私にとって、このカンファレンスで多くの日本人クリスチャンリーダーの方々、また全国

が与えられるよい機会となりました。

カナダからの参加者は約20人で、その多くはバンクーバー、ヴィクトリアに滞在した人達でした。彼らのカナダでの体験、そしてどのようにしてクリスチャンになったのかの証はとても興味深いものでした。その内の2人はアルバータ州のレスブリッジやスリーヒルに滞在した方若者達、宮坂たかふみくんと東けんさくくんでした。彼らはサニーサイドキャンプにも過去何年間か参加していて、たかふみくんは、新しく築かれる帰国者のための全国ネットワーク・東京エリアで奉仕して下さることにもなっています。この全国ネットワークは、帰国者がクリスチャンの交わりの中に加えられ、ホームチャーチを見つけるための管として、とても重要なものだと思います。キリストに触れられ、クリスチャンとなり生活が変えられたこの国の若者達を見ることは、とても大きな励みとなりました。神様は私たちの人知をはるかに超えて、素晴らしいことをなされるお方です。日本のために、牧師のために、若者のために、これからも祈っていきましょう。*



金城ノリ
CJM
ディレクター



カンファレンスでは参加者との礼拝がもたれました。



帰国者カンファレンスの会場となった埼玉のホテル

レスブリッジ ジャパニーズ クリスチャン フェローシップ

日曜礼拝：午後2時よりFirst Baptist Churchにて。1614-5th Ave. South, Lethbridge, AB

牧師：秋山賢 電話：403-317-1987 Eメール：sakiyama@telus.net



秋山賢牧師 真理夫人
創平君（10）有紗ちゃん（8）

秋山賢牧師

レスブリッジ日本人宣教の為にサポートして下さり心から感謝します。

日本の支える会のサポートにより、3月には日本で行われたオールネーションリタナーニーズカンファレンスに参加させていただきました。

このカンファレンスは、海外で救われた帰国者ク

リスチャン、求道者、彼らを受け入れる日本の教会、帰国者を送り出している海外の教会が共に集い、日本人伝道の前進と、国内外の協力体制作りの機会として開かれた集会です。期間中、レスブリッジ日本人宣教を紹介するブースをだし、パワーポイントを用いて働きを紹介する時間をいただきました。

またこのカンファレンスと一緒にカナダから参加したCJMディレクター金城ノリ先生ご夫妻と共に日本の支える会スタッフと今後の日本人宣教の進め方とレスブリッジで救われて日本に帰国したクリスチャンのフォローについて深い話し合いがなされました。

新しくレスブリッジ宣教の支える会に2006年にレスブリッジで受洗し、今年1月に帰国した宮坂貴文君（立川福音自由教会）がスタッフとして加わり、教会につながっていない帰国クリスチャンと支える会、私達とのブリッジの働きを担ってくださいます。少しずつですが、



イースター礼拝で洗礼を受けた江倉裕美さん（中央）



レスブリッジからの帰国者と日曜礼拝に出席しました。

ネットワークが形作られ、広げられている事を感謝しています。

LJCF(レスブリッジジャパニーズクリスチャンフェロシップ)では、イースター礼拝の中で江倉裕美さん(学生)の洗礼式が執り行われました。昨秋から礼拝に出席するようになった裕美さん。その後、個人的にバイブルスタディーが始まり、イエス様を受け入れ、もっと早い段階での受洗を望んでいましたが、日本にいるご両親が反対。20歳を過ぎている裕美さんですが、ご両親の理解が得られるまで待つことを決め、教会をあげて祈ってきました。そして最近ご両親の許可があり、晴れて洗礼を受けることとなりました。ハレルヤ!!

LJCFの礼拝には、月2回、ロン・ダークス先生とリンダさんご夫妻が英語ミニストリーのために奉仕してくださっています。LJCFの英語ミニストリーのために神様の導きと知恵を求めて切に祈っています。どうぞお祈りください。*

献金

秋山牧師ミニストリーのサポート、また一般会計への献金は、下記にお送り下さい。

Brenda Ohara-Peters
669 Hillman Cres.,
Mississauga, ON L4Y 2J1

Tel.: 905-949-4182
Email: bjobjo@aol.com

バンクーバー日系福音教会

425-11th St., New Westminster, BC V3M 4G1
 日曜礼拝—午前11時より
 福迫徹也牧師（日本語部）ロバート・ブラウン牧師（英語部）
 Website: japanesegospelchurch.com



福迫徹也牧師

今年の私たちの教会のテーマは「霊とまことによる礼拝」です。礼拝はクリスチャンの信仰生活と教会活動の中心になりますが、神である主を霊(心から)とまこと(正しい知識)によって礼拝して行きたいと願っています。教会が神の家族として「ゆりかごから天国まで」幼い子供達からシニアまで、日本人以外の人々も共に、心から喜んで神を礼拝出来るように成長して行けるようにお祈り下さい。

今年も早くも三分の一が過ぎましたが、5月以降の計画としては、5月5日(火)第5回シニアーズ友の会春の1日バス旅行(今年はバンクーバー島のビクトリアに行きます)、5月16日(土)ユーオーディア・コンサート(バンクーバー地区の日系の7教会で協力して行われます)、6月20日(日)ー24日(木)中野雄一郎師ご夫妻を迎えての集会、6月30日(火)ー7月7日(火)チョ・サオク師(韓国 日本宣教教会)来訪、7月3日(金)レディスランチョン、8月28日(金)ー30日(日)教会ファミリーキャンプ(講師:藤井圭子師、黒田撰師)、10月9日(金)第4回ゴスペル・ナイト(Michael J. Fox Theatre)などが計画されています。

更に、このような活動以外に、すでに4組の教会員の結婚式が年内に予定されています。教会の青年たちの結婚の祝福とクリスチャンファミリーとして、主のご栄光をあらわして行けるようにお祈り下さい。

今年も多くの活動が計画されていますが、一つ一つの計画が単なるイベントではなく「礼拝、奉仕、交わり、霊的成長、伝道」が取り込まれ、教会活動が主の働きに、神の国の前進

のために豊かに用いられるようお祈り下さい。

ここ数年、教会のホームページを見て教会に来る方々がたくさん起こされています。更に、ホームページを通しての伝道が効果的に進むために、現在、改定中です。

www.vjgc@telus.net また、教会のグループの一つであるIYG(Int'l Youth and Young Adult Group)のホームページが開設しました。www.iyg4u.com (ご覧の際はwww.忘れないように)。両方とも是非、ご覧下さり、皆さんの教会のホームページのリンクに付け加えてください。CJMに属する全ての教会の働きが、主によって導かれ祝福されますようお祈りいたします。*



バンクーバー日系福音教会にて2009年ニューイヤー礼拝

エドモントン日系キリスト教会

場所: Zion Baptist Community Church 電話: 780-488-4168
 9802—76th Ave. NW, Edmonton, AB T6E 1K5
 日曜礼拝: 午後2時より (パイリンガル)
www.telusplanet.net/public/jpc



この4月26日には、以前この教会でクリスチャンになり洗礼を受けられた姉妹の娘さんが洗礼を受ける事になっています。

高梨朱美さんは17—18年前、研究員としてアルバータ大学に来られたご主人と共に小さな夏美ちゃんを連れてエドモントンに来られました。朱美さんはそのうちに教会に来るようになり、いろいろな交わりを通して1991年エドモントン日系キリスト教会で洗礼を受けられ日本に帰国されました。

それから10年以上経って、その頃小さかった夏美ちゃんも成長して高校生の時にこのエドモントンに留学する事になりました。高校時代は、クリスチャンの家庭にホームステイをして、その後アルバータ大学に入学しました。しばらくは教会を敬遠するような状態にありましたが、神様の不思議な導きにより、エドモントン日系キリスト教会員の家にホームステイする事になりました。そのうちに、

教会の礼拝やそのお宅で行われている毎週の聖書の勉強にも出席するようになり、だんだんとお母さんが洗礼を受けた教会で洗礼を受けたいとの思いが与えられるようになりました。そして、まだ救われていない日本にいるお父さんや弟のために祈るようにもなりました。この洗礼式は中野ユリ師と以前ホームステイ先のスタン・キング牧師を通して行われますが、日本からお父さんがこの洗礼式のために来られると言う事です。現在、お父さんもお母さんと共に教会に通うようになったということです。

「主イエスを信じなさい。そうすればあなたもあなたの家族も救われます。」

使徒16:31*



高梨夏美さんと
中野百合師

ウエスリーチャペル日本語教会

2385 Warden Ave., Scarborough, ON M1W 2L6
日曜礼拝午前11時より 吉田エドワード牧師（日本語部）



吉田牧師と陽子夫人

NNN（ナイアガラ日系ネットワーク） クリスマスの集い 吉田エドワード牧師

2008年クリスマスのナイアガラ付近の天気は、天気予報でも悪天が予報されていたので、ナイアガラ、バッファロー、トロントそしてその他各地の友人に祈ってもらい、ナイアガラ行きを決行するかどうか見合わせていました。金曜日にはトロントは16-20cmの大雪のため、事故も多発し、学校は閉鎖されました。私たちはバッファロー、ナイアガラそして高速道路交通速報にも電話をし、道中の安全を確認するために情報を集めました。最終的には行く道の安全を神様が守って下さることに信頼し、信仰をもって出発することにしました。行ってみると高速道路の運転はジョーダンステーションにつく頃までかなりスムーズなものでした。

ナイアガラでの集いは、予想をはるかに上回る数の人たちが集まってくださり、どんどん人が押し寄せ大人と子どもを合わせて58人以上の方がその場に集ってくださいました。新しく来て下さった方、始めての方がたくさんおり、とても皆さんの名前をはっきり覚えることが出来ないほどでした。そして素晴らしい食べ物も用意されデザートも、選ぶのに困ってしまうほどの素晴らしさでした。クリスマスを祝うためのプログラムが用意され、クリスマスキャロルの時にはカドハマセツコさん（バッファローから）、シーファー先生（バッファローから）とアラン・ダークソン（セント・キャサリンから）の3人がその賜物を用いてキャロルをリードしてくださいました。その後、クリフ・シーファーさんがサクソフォーンの演奏をし、柿原みきさんがルカの2章1節から11節を拝読し、最後に吉田牧師が紙芝居を用いてメッセージをして下さいました。プログラムが終了した時、その場に来て下さった方々皆さんともとお話がしたかったのですが、トロントまでの2時間の道のりが夜のドライブになってしまう前に出発したかったので、残念ながら早々にその場を去りました。このクリスマスの集いは過去10年間の屋内集会のなかで一番大きなものとなりました。この集いのために尽力をつくして下さいているサポリトさん、ベリシャさん、柿原さん、ダークソンさん、そして鈴木さん一家に心から感謝します。*



初瀬川宗利牧師、
みか夫人、あや君

ウエスリーチャペル 新しい牧師招聘 吉田エドワード牧師

ウエスリーチャペルは、長年に及びさまざまな牧師候補者が出る中、新牧師を迎えるために尽力をつ

くしてきましたが、今回、日本の大阪から、初瀬川宗利（はつせがわむねとし）牧師を正式にウエスリーチャペルの牧師として向かえることに決まりました。

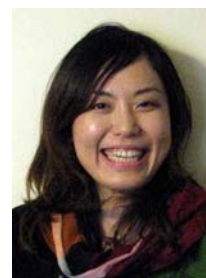
師はバンクーバー、リージェントカレッジを卒業しており、バンクーバーの恵み教会またメノナイト教会においてインターンで奉仕しました。年は35歳で、家族は奥様のみかさんと子どものあやくんです。2009年4月に第2児を出産する予定で、すべての条件が整いましたら今年の夏からカナダに来てくださいます。牧師一家がスムーズにカナダでの生活を開始することができるよう、日系教会に協力を呼びかけています。一家が使えるような家具やその他の物がありましたら献品していただくと助かります。場合によってはタックスレシートを出すことも可能です。

初瀬川牧師は初めの2年間吉田牧師のもと、協力牧師として奉仕にあたる予定です。その間メッセージの奉仕をすると共にフリーメソジスト教団の按手式の準備コースを終了する予定です。

どうか初瀬川牧師と家族のためにみなさんお祈りください。*

エドモントン日系キリスト教（つづき）

エドモントン日系キリスト教会では、主の素晴らしいめぐみを経験しています。昨年の9月には日本から来た2人のESLの学生さん、山川弘美さんと鈴木沙里さんが、以前当教会の牧師であって現在は日本に宣教師として行くべく準備をしておられる中野百合師より、洗礼を受けると言う祝福を受けました。この二人は日本では、同じように登校拒否の問題に悩まされていました。イエスキリストを通して家族が次々にお母さん、お父さんと変えられていきます。現在 鈴木沙里姉は日本に帰られて教会に繋がっています。そして、山川弘美姉は9月から聖書学校に行くべき英語と聖書の勉強に励んでいます。*



山川弘美さん



鈴木沙里さん

場所：301 Silver Star Blvd., Scarborough, ON M1V 0B6
日曜礼拝：午前11時より
教会電話番号：416-335-JGCT(5428) FAX: 416-335-5932
佐藤明男牧師（日本語部）416-495-1534
戎崎レイ牧師（英語部）905-597-5428
Website: www.jgct.com



レイ牧師、実奈子夫人
ショーン君(7)、クリスティちゃん(4)

戎崎レイモンド牧師
キャンプミニストリー：今年、私たちの教会のキャンプは、思いもよらない展開を見せています。トロントにある日本人サッカー同好会は3人の大人と40人から60人ほどの子どもたちが毎週あつまり活動をしているグループですが、その同好会のメンバーを

今年キャンプに招き、サッカークリニックもふまえて一緒にキャンプを行っていく方向にあります。このことにおいて神様の御心がおこなわれるようお祈りください。

教会堂アップデート：新しい教会堂での初めての礼拝は2008年10月12日、感謝祭で、心からの感謝に満ちた感動的な礼拝がもたれました。その翌週の土曜日（18日）には新会堂での初めての結婚式がとりおこなわれ、その7日後の25日には献堂式が行われました。献堂式は私たちの教会の歴史上もっとも大きなあつまりであったのではないかと思います。驚いたことに、教会堂はその大勢の人を迎え入れるのに必要なだけの場所を備えることが出来、喜んでみなさんに帰ってもらうことが出来ました。このような中で、新会堂での日々が始まりましたが、私たちは神様に感謝の思いでいっぱいです。



子育てサークル“あらたま”にて、こいのぼりを作りました。

そしてその後、新しい教会堂に慣れてくるにつれ、自由に使える建物があることがどれだけミニストリーの可能性を広げてくれるのかということを実感しつつあります。（私たちの教会は45年間自分の建物を持っていませんでしたので、これは新しい経験で

す。）私たちは青年のイベント、C&Cのリトリート、餅つき、寿司巻き、イースターエッグハントといったイベントや、毎週の各スモールグループ、賛美練習会、子育てサークルといった、その他たくさんのミニストリーのために教会堂を用いています。わたしたちがやることすべてにおいて、神様の導きを確認しながら進めていけるようお祈りください。*



佐藤牧師と陽子夫人

佐藤牧師

クリスチャンのボランティアを中心に建てられた私たちの教会堂が与えられて半年が過ぎました。献堂式は昨年10月25日に終わりましたが、まだまだこれから外部の造園を始め、内部のカーテン等の内装を整えていかなければなりません。それ以上に、この与えられた素晴らしい会堂をどのように用いていくかが、私たちトロント日系福音教会に属する者たちに与えられた、現在の大きなチャレンジです。

以前、他の教会などを借りていた時も、現在も礼拝は英語部と日本語部に分かれて捧げていましたが、交わりは、一緒にしていました。しかし、この教会堂を与えられたことにより、何か一体感を感じるようになりました。教会堂の建築にあたっては、一年半に亘り、クリスチャンのボランティアの人たちに、英語部の人も、日本語部の人も共に協力して食事を準備してきました。また、ボランティアとして英語部と、日本語部の人が、一緒に働く機会も与えられました。

それに伴い、私たちのミニストリーも、英語部と日本語部がそれぞれの特色を生かして、一緒にやっていけるようになってきました。先日は、日本語部と英語部の人たちが協力してまだイエス・キリストを知らない日本語を話すお母さんたちと、その子供たちを対象にしたイースターエッグハントが行われました。お母さん方と子供たちを合わせて80人以上の人たちが集まりました。もちろん、初めてのミニストリーで、多くの改善すべき点がありますが、教会の歴史に新しいページが開かれたのを感じました。

これからも日本語部と英語部のあるイエス・キリストの御体なる教会として、主が大きく用いて下さり、主の御栄光が現されるようにと願っています。どうぞ、私たちの教会のために引き続きお祈り下さい。*



親子で作ったこいのぼりを持って“あらたま”初日の記念撮影